

ナタリー・ウッド / リチャード・ヘイマー / ショーン・チャキリス
 ラス・タンブリン / リタ・モレノ / 他ブロードウェイ・ダンサー
 製作・監督 ロバート・ワイズ フォーラム・ロビンス〈振付〉

United Artists
 Transmance Collection
 ユナイテッド映画

上映時間 (11・平日上映)
 7/30～8/31 10:30 1:30 4:30 7:30
 7/30～8/31 9:30 12:30 3:30 6:20 8:50
 料金一般 ¥500 / 学生 ¥400
 指定席 ¥1,000 ¥800
 団体料金申し受け中 / 1名様 ¥400
 お申込は (ユナイテッド) 外部部 (503) 6138
 (ユナイテッド) サービスセンター (832) 2967
 指定席のお申し込み劇場へ

7月5日
 待望の大ロードショー /
 ピカデリー
 T E L (201) 2881



マリア トウナイト アメリカ
 他ヒット主題曲がいっぱい

テグニカラー

[70mm]

超ステレオ音響



アカデミー賞
 11部門受賞

WEST SIDE STORY

ウエストサイド物語

テクニカラー/超ステレオ音響

[70mm] ウェストサイド物語



●スタッフ

製作……………ロバート・ワイズ
監督……………ロバート・ワイズ
……………ジェローム・ロビンズ
脚本……………アーネスト・レーマン
振付……………ジェローム・ロビンズ
音楽……………レナード・バーンステイン

●キャスト

マリア……………ナタリー・ウッド
トニー……………リチャード・ベイマ
リフ……………ラス・タンブリン
アニタ……………リタ・モレノ
ベルナルド……………ジョージ・チャクリス

WEST SIDE STORY

●この映画のみどころ

開巻劈頭、70ミリのカメラがニューヨークの上空から裏町ウェスト・サイド地区におり立ち、ここの一角にたむろするジェット団とシャーク団に焦点を合せる。耳に最初の音がとびこむ。高く、鮮明な鋭い指の音。のつけからはじまる高度な緊迫感と迫力。導入部からどぎもを抜かれる。ここで新鮮なショックをうける。爆発する若いエネルギー。沸騰する生氣と感動と興奮。音楽と演技とモダン・ダンスの完璧な融合。そして「ロミオとジュリエット」の完全な現代化。どの一つをとりあげても見事に、巧みに織りあわされて映画史上空前のミュージカル傑作に仕上がっている。

音楽（レナード・バーンステイン）も振り付け（ジェローム・ロビンズ）もお互いに激しくぶつかりあい、しかも節度をきびしく守っているあの快よさ。数々のミュージカル・ナンバー。歌われるのは15曲のオリジナル。トニーの歌う「サムシング」やマリアの「アイ・フィール・プリティ」のような甘い歌やエネルギーの爆発するような「ジェットの歌」。激情をおさえて、それをだんだん発散させていって涼しい顔にかえる「クール」。そして一番興奮を呼ぶ「トゥ・ナイト」。体育館でのあの歌と踊り、キビ、キビしたあの「アメリカ」。その他の甘美な、ダイナミックなメロディはヒット・メロディとして大受けに受けている。これこそミュージカルである。

原作は57年ブロードウェイの舞台に上演（日本でもア

メリカ人の手で、アメリカ人の俳優で上演、また宝塚でも上演）された。映画化にあたって「私は死にたくない」のリアリズム派の巨匠のロバート・ワイズ監督と舞台劇を演出振付したジェローム・ロビンズが、しっかり手をくんで共同で監督にあたった。ロバート・ワイズはダイナミックな都会の線を描くハリウッドの第1人者であり、ジェローム・ロビンズは誕生地だけに「ニューヨークは俺の家だ」といっているように絶対のコンビである。

主演は今や演技派の大スターになったナタリー・ウッド、子役から着実に演技力をつけた二枚目リチャード・ベイマー、この二人を中心に舞台出のジョージ・チャクリス、ラス・タンブリン、その他生氣溢れる若手が総出演している。アカデミー賞11部門受賞作品。

1961年度ミリシユ作品。70ミリ。テクニカラー。八巻(4146m) 2時間35分

